



【柑橘】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

【温州みかん】

病害虫防除

7月下旬～8月中旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤又はジマンダイセン水和剤600倍 166g/水100ℓ 収穫30日前 4回

○ヤノネカイガラムシ エルサン乳剤（劇）1,500倍 66 ml/水100ℓ 収穫14日前 2回

○ミカンサビダニ ダニカット乳剤20 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫14日前 1回

8月下旬～9月上旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤又はジマンダイセン水和剤600倍 166g/水100ℓ 収穫30日前 4回

○シカバニ ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100ℓ 収穫前日 1回

シカビダニ

又は

ダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回

○チャノキロアミマ

カメムシ類

スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

ヤノネカイガラムシ

品質向上対策

①熟期促進を目的に、フィガロン乳剤の散布

満開後90日と110日の2回 3,000倍 300ℓ/10a

②タイバックシートの利用 敷設は8月中、取り外しは収穫前に行う

着色向上を目的の場合は、樹冠下に敷く（部分被覆）

着色向上と増糖・除草を目的の場合には、園内全体に敷く（全面被覆）

【中晩柑】

はるみ・不知火は、初秋の乾燥で細根が枯死しやすいため、水分ストレスを受けやすく、小玉、高酸果の原因になります。敷わらマルチ、ナギナタガヤの草生栽培により梅雨明け後から秋にかけての土壌の過乾燥を防ぎましょう。著しく乾燥が続く場合は灌水も検討しましょう。また、1果当たり100葉を基準に早めの摘果をしましょう。

特にはるみは着果量が多いと樹勢の低下や枯死の原因になりますので、樹冠上部1/3から1/4は必ず全摘果をしましょう

【うめ】

夏季剪定 8月中旬～9月中旬まで

縮間伐を行い周囲から光が当たるようにするとともに、立ち枝(覆う枝)の間引きで樹の内部まで光が入るようにして翌年の花芽の充実を図りましょう。8月中に終わると効果が高いです。

(小梅や樹勢が弱っている樹は、夏季剪定は控えめにしましょう。)

病害虫防除 8月～9月

○ケムシ類発生時 ダントツ水溶剤 2000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

【水 稲】

水管理（高温障害の対応） **重要**

出穂後20日間の平均気温が26～27℃以上の高温で推移すると、高温障害粒（乳白粒・心白粒等）が多発し、品質が低下してしまいます。

出穂前15日、出穂後10日間は水を切らさないようにしましょう。

その後は、根の活力維持のため間断かん水に努めましょう。35℃以上の異常高温が予測される場合は、掛け流しかん水をすることにより、圃場の気温が低下して被害を軽減することができます。

病害虫防除 8月上旬～中旬

○カメムシ類・ウンカ類：スタークル粒剤 3kg/10a 収穫7日前/3回 発生状況に注意しましょう。

防雀網の設置

開花時に影響が無いように、出穂前に済ませましょう。

自然対策

豪雨の時 水口、水尻を閉め過剰な水路からの流入による倒伏を防ぎましょう。

泥水が入った場合には、すみやかに新鮮な水と入れ替えましょう。

強風の時 水口、水尻を閉め深水にして、風による倒伏を防ぎましょう。

【キウイフルーツ】

夏季剪定終了後に発生した夏枝や、剪定した部分から出る新梢が巻きついた部分を取り除きます。結果枝の葉を充実させ、果実へ養分が行きやすくするために、新梢を伸ばさないようにしましょう。

病害虫防除

7月下旬～8月中旬

○キイロマダガ フェニックスフロアブル 4000倍 25ml/水100ℓ 収穫7日前 3回

○カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

【か き】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

病害虫防除

8月上旬

○カキノヘタムシガ ダントツ水溶剤 4,000倍 25g/水100ℓ 収穫7日前 3回

カメムシ類

又は

コナカイガラムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

○うどんこ病

トツジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫前日 6回

8月下旬

○うどんこ病多発園 トリフミン水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 収穫前日 3回

灌 水

肥大促進・充実のため、梅雨明け後に乾燥が続く場合は、1週間に1回程度灌水をしましょう。

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

~~~~~お知らせ~~~~~

## スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の収集について

成田営農経済センターにて下記の日程で貝の回収を実施いたします。

スクミリングガイを発見した場合は捕獲をお願い致します。

1. 収集日 令和4年8月8日（月）・22日（月）

9月5日（月）・12日（月）

2. 収集時間 8時30分～12時

※時間に間に合わない場合は成田営農経済センターにご連絡ください。

3. 収集場所 成田営農経済センター

住所：小田原市成田802-1 TEL：0465-38-0131

### 【注意事項】

・スクミリングガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるため、捕獲の際はゴム手袋を着用し素手では触らないようにしましょう。

・個別回収は行いませんので、収集場所への持込をお願いします。

### 【お願い】

・持込の際は、水分をよく切ってから袋に入れ、袋の口をしっかりと閉じて持ってきて下さい。

・発生水田では捕獲と薬剤（スクミノン、スクミンベイト）併用での対策を図って下さい。

・畦畔等に生み付けられたピンク色の卵塊を発見した場合は、潰して下さい。

・水田の水口、水尻にネットを取り付け、水田内への侵入や隣接する水田への被害拡大を防いで下さい。

・発生水田は冬季に耕うんを必ず行い、土中で越冬している貝を潰して下さい。

## スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の防除について

スクミリングガイの発生が目立っています。この時期イネは食害されない大きさに育っていますが、非常に繁殖力が旺盛でまだまだ産卵時期が続きます。発生拡大を防ぐためにも対策をしましょう。

【対策】（薬剤散布と捕獲などを組み合わせて防除しましょう）

○薬剤（スクミノン、スクミンベイト3）散布。貝が集まる深水部分への重点的な散布

○貝の捕獲や卵塊の除去

○水田の水口、水尻にネットを取り付け、水路からの侵入や隣接する水田への侵入を防ぐ

○冬季に耕耘を行い、土中で越冬している貝を潰す

【注意事項】

○スクミリングガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるためゴム手袋等を着用し素手では触らないようにしましょう。

## スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）駆除農薬購入助成金のご案内について

当センター管内で発生が多発している「スクミリンゴガイ」について対策として駆除剤購入者に対し助成しますので、ぜひご利用ください。

1. 申請期間：令和4年4月1日（金）～令和5年2月28日（火）まで
2. 購入費用（税抜）の1/2以内を助成します。

| 項目                   | 助成内容                     | 助成率    |
|----------------------|--------------------------|--------|
| スクミリンゴガイ<br>駆除剤購入費助成 | スクミリンゴガイ駆除<br>の為の薬剤購入費助成 | 1/2 以内 |

### 【申請方法】

薬剤購入後、以下の書類の提出をよろしくお願いいたします。

- ①地域農業応援プログラム申請書
  - ②申請書宛の領収書の写し
  - ③（補助金等がある場合）本事業と併用する補助金・助成金等の受領書・入金通知書等
- ※申請書はセンターにてお渡しします。

## SG21 令和4年度新規会員募集について

湘南ゴールドの生産・販売組織『SG21』の会員を下記の通り募集いたします。

SG21では会員向けに栽培講習会や出荷に向けた目合わせなど湘南ゴールド生産者の支援を行っています。加入希望の方はお申し込みください。

- ・事業年度：令和4年7月1日～令和5年6月30日
- ・年会費：1,000円/年額
- ・申し込み：山北支店及び各営農経済センター
- ・申込期限：令和4年8月26日（金）まで
- ・お問合せ：営農部営農指導課（46-6950）